

令和元年(2019年)9月10日(火曜日)



説明を受けながら源兵衛川を訪れた子供ら＝三島市

源兵衛川の清流学ぶ

三島で「子ども観光大使」講座

県内の魅力を学び、伝える「ふじのくに子ども観光大使」の本年度第6回認定講座(NPO法人子ども未来、県主催)が8日、三島市内で開かれた。県内の小中学生と保護者ら計30人が参加し、「水の都」と呼ばれる三島の清流について理解を深めた。

水辺の環境保全に取り組むNPO法人「グランドワーク三島」のインストラクターが、富士山の伏流水を

源流とする同市の源兵衛川について説明した。かつて都市化により汚された清流を官民協働で取り戻した歴史にも触れ、「世界水遺産と世界かんがい施設遺産の両方に登録された河川は世界でも源兵衛川だけ」と述べた。

子供らは源兵衛川を実際に訪れ、水に触れたり生物を観察したりして楽しんだ。富士宮市立東小5年の加藤千愛さん(10)は「源兵衛川は水がきれいで冷たい。自然環境を大切にしたいと思った」と話した。

(三島支局・金野真仁)